



国土交通省

同時提供先 島根県政記者会、出雲市政記者クラブ

平成25年 6月13日

国土交通省出雲河川事務所からのお知らせ

第4次渇水調整を継続します

非常に厳しい渇水状況に向けて

本日午後「第5回斐伊川渇水調整協議会幹事会」を開催し、渇水調整による影響等について、関係機関と協議をしました。

利水者の方から、「厳しい状況ではあるが、減水による甚大な影響の回避に努めているところであり、しばらく第4次渇水調整の内容を継続し、引き続き状況の把握に努める」ことを確認しましたので、別紙内容の渇水調整を継続します。

よって、近日の斐伊川渇水調整協議会の開催は行わないことのお知らせします。状況把握に努め適切な時期に、協議会（幹事会）を開催します。

斐伊川・尾原ダムなどの状況を、出雲河川事務所のホームページに掲載し、情報発信に努めています。

出雲河川事務所HP:<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

「渇水情報」をクリックすると、ダム等の情報が見れます。

※注意※

6月11日から洪水期に入り洪水調節容量を増加させるため「貯水率（利水容量）」の算定方法が変わっています。なお、貯水量は変わりません。

問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長 武部 眞実（内線）205
占用調整課長 犬山 典子（内線）341
TEL 0853-21-1850（代表）

■ 第4回斐伊川渇水調整協議会 対応方針

5月27日に梅雨入りしたものの、これまでまとまった降雨がなく、斐伊川の自然状態での流量は引き続き非常に少ない状況にある。

このような状況であるが、これまでの尾原ダムからの補給により、住民生活に大きな影響は生じていない。

今後も降雨が見込まれない状況が続くと思われるため、補給量の削減により当面7月上旬までの補給継続を目的に取り組みを進めることとする。

それにあたっては、各関係者の節水の取り組みと併せて、下流の利水及び河川環境の変化等の状況把握に努めるものとする。

■ 第四次渇水調整事項

- 上島地点の正常流量について70%減でダムから補給
しろかき期 ~6/20 16.3m³/s → 節水後 おおよそ4.5m³/s
かんがい期 6/21~ 15.2m³/s → 節水後おおよそ4.5m³/s
なお、上記の減量に伴い、木次地点では通常6m³/sの確保流量に対し60%減程度の影響が生じる可能性がある。
- 尾原ダム、三成ダム、阿井川ダム（斐伊川取水ダム含む）は、連携し 正常流量の確保を図る
- 尾原ダムの貯留制限 上島地点（21.0m³/s）、尾原ダム地点（1.2m³/s）を解除
- 灌漑用水及び上水道の取水について 自主節水の呼びかけを行う